



学校だより

墨田区立吾孺立花中学校

〒131-0043

東京都墨田区立花 4-30-18

Tel 3616-2271

平成31年度 第2号 (令和元年7月19日発行)

あじみそ返事

校長 池田 伸彦

本校の玄関正面に設置されている掲示板には、**あじみそ返事**の掲示物が常に貼られています。

あは(元気に自分から)あいさつをする、**じ**は時間と時刻を守る、**み**は身だしなみを整える、**そ**は掃除を丁寧に進んでやるという意味で、既におなじみの標語かと思います。

これに加えて、**返事**にも重要な意味があります。きちっと返事をするということは、多くの生徒と教職員が集って日々を過ごす学校生活においてはとても重要なことです。呼びかけた時や話しかけた時に、相手からの返事がなかったら「自分に気付かないのかな?」、あるいは「自分は無視されたのかな?」と誤ってしまい、コミュニケーションを進める上でのハードルになってしまいます。あいさつや返事は「私はあなたに気付き、あなたに意識を向けています」という思いを、きわめて端的に分かりやすく表すものです。他者の存在を認めることであり、他者を尊重することでもあります。人を思いやる暖かく豊かな心にも繋がっていくものです。どうぞご理解をいただき、ご家庭でのご協力をお願いします。

— 閉庁期間と新校舎への移転作業日について —

夏季休業中の諸活動は現校舎で行いますが、閉庁期間と移転作業日(引越し)は教職員以外の校舎立入はできません。ご理解とご協力をお願いします。なお、体育館を使用する部活動については、新校舎の空調検証のため新体育館で活動することがあります。

閉庁期間 8/11(日)~8/15(木)

移転作業 8/19(月)~8/21(水) ※8/22(木)は作業予備日

第6回 運動会

6月1日(土)に第6回運動会が行われました。現吾孺立花中学校校舎で行われる最後の運動会でした。スローガンを「最終決戦 仲間を信じて勝利を掴め Let's do our best」と定め、練習に励みました。天候にも恵まれました。兄弟学級で目指した行進賞、各色実行委員を中心にメリハリある素晴らしい行進でした。全校での表現活動では、1年生の集団行動から始まり、2・3年生合同のソーラン節、最後は全校で決めポーズをしました。吾孺立花中学校が1つになった瞬間でした。学級対抗戦の運動会でしたが、学年、クラス関係なく、声援を送る姿が印象的でした。一回りも二回りも成長できた素晴らしい運動会でした。



3 学年 修学旅行

5月21日から23日までの2泊3日で関西方面に修学旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、楽しく充実した3日間となりました。まず初日は世界最古の木造建築である法隆寺と、大仏でおなじみの東大寺がある奈良公園を訪ねました。大仏の大きさと鹿の多さに驚きの声があがっていました。

2日目は京都市内班別行動を行いました。今回は地下鉄と京阪電鉄のみを利用するという初めての試みを実施しました。食事やスイーツも楽しみつつ、歴史ある寺社を巡り、大きな収穫を得ることができました。

3日目はタクシー班行動を行いました。運転手さんの解説付きで回る京都の町並みは、ひととき楽しいひと時だったようです。お土産もたくさん購入し、楽しい思い出がたくさんできた3日間となりました。



2 学年 TGG 校外学習

7月2日(火)、東京英語村:Tokyo Global Gateway(TGG)に行ってきました。TGGは旅行や留学など海外での生活を疑似体験しながら、生きた英語を学べる施設です。生徒は本校教員とは別行動で、「エージェンツ」と呼ばれる英語の話し手と共に活動し、「英語漬け」の1日を過ごしました。午前中には「レストランでの注文」「売店で買い物」など体験し、午後には「英語で科学について学ぶ」など、「英語を学ぶ」のではなく「英語で学ぶ」ことができた1日でした。初めは「私の英語は通じるのか…」と不安そうにしていた生徒も、帰るころには笑顔いっぱいでした。



1 学年 野外体験活動

6月27日、28日の一泊二日で、富士山と山中湖に野外体験活動に行ってきました。

初日の富士山は、雨・霧・風がひどく、残念ながら御庭ハイキングは中止となり、鳴沢氷穴・富岳風穴の見学をしました。班ごとに、ひんやりと寒い真っ暗な洞窟の見学を楽しみました。夜は、たかはしべんさんのコンサート。楽しい歌に大笑いしたり、感動する歌に涙したりと充実した時間を過ごしました。

2日目は、大縄大会と飯盒炊さん。飯盒炊さんでは、家庭科の調理実習で作ったカレーの反省を生かし、どの班も協力して美味しいカレーを作ることができました。

「思いやり」「気づき」「笑顔」をテーマに、学年・クラスの友情を深め、自分や仲間の良い面に気づき、笑顔がいっぱいの2日間を過ごしました。

「時間だよ」、「静かにしよう」という声が自主的に上がるなど、お互いに絆を深め、今後の学校生活の糧となる有意義な宿泊行事となりました。

